



矢川だより



滝乃川学園の
ビフォー・アフター大会



No.133

2024.04.Spring



医療法人社団ひらの亀戸ひまわり診療所所長。2011年より滝乃川学園産業医。毎月一回の安全衛生委員会や学園職員を対象とした面談、年一回のメンタルヘルス研修などを通して、学園職員が快適に働くことのできる職場づくりのための活動を支援している。

矢川 の ひと



滝乃川学園産業医

毛利 一平（もうり・いっぺい）さん

私たちの滝乃川学園に
今年も春がやってきました

利用者さんと

職員の子どもたち

近所の子どもたちが

一緒に遊ぶ公園からは

風にそよぐ桜の木がよく見えます

滝乃川学園からのお便り

「矢川だより」

地域のお庭のようなこの場所では

はたらいっている私たちの声を

すこしまじめに、楽しみながら

お届けしたいと思います！



石井亮一・筆子記念館前

「職場環境改善」は

楽しく参加がキーワード

滝乃川学園をはじめ5、6箇所の事業所で産業医をしています。安全衛生委員会に出席してアドバイスをしたり、職員の相談に乗ったり、長時間の残業をしている職員がいれば面談の場を設けるなど、職員のメンタルケアに努めています。

学園には身体介護が必要な利用者さんは多くありません。職員と一緒にまちなかを散歩している姿をよく見かけますが、元気で健康な方が多いです。その分、突発的な行動や事故による怪我など、思わぬところで職員の労災は起こり得ます。私が前任者から産業医を引き継いだ2011年、学園ではすでに安全衛生委員会がきちんと開かれて、職員の安全や健康を考える風土ができていました。

職員の安心安全と、利用者さんにとっての安心安全には重なる部分が多く、そういった面でも現場の職員から職場改善のアイデアはたくさん出てきます。各部署とも予算をかけずにすぐに実践できることを意識しており、そうした事例を年一回の「ピフォー・アフター大会」で披露し合います。

安全衛生の取り組みは毎回ギチギチだと疲れてしまうので、あまり続かない施設が多い中、学園では楽しくワイワイガヤガヤ取り組むことができ、もう20年以上続いています。



参加型職場改善に取り組む理由^{わけ}

福祉施設の職員には、利用者さんのことを第一に考えるあまり、自分のことは二の次になってしまう傾向があります。滝乃川学園の職員も例外ではなく、2001年、法人では職員の働き方に着目した「安全衛生委員会」の設置に踏み出しました。設置にあたりアドバイスをいただいた「東京労働安全衛生センター」の方はこんなお話をされました。

「利用者様のことを第一に考えることは当然です。それと同じように、働く自分たちの健康や安全を考えることも重要です。職員の労働環境が整っているからこそ、良いサービスができるのです」

滝乃川学園の安全衛生コンセプトである「私たちの職場は利用者の方の暮らしの場であり、職場環境を良くすることは、利用者の暮らしの環境を良くすることと同じです」は、この一言からはじまりました。

フレッシュな視点も！

職場改善の場では新入職員が活躍しています。慣例的な日常を改善するには、フレッシュな視点とアイデアが必要不可欠です。職場改善の姿勢は、いつも新人たちに支えられています。

福祉施設の労災事故の原因は多岐にわたります。業界的な人手不足も様々な悪循環の要因になります。また、感情労働とも言われるこの職種にメンタルケアは欠かせません。滝乃川学園では、産業医や産業カウンセラー等の産業衛生スタッフと連携しながら、利用者さん、職員がともに健やかに過ごせる環境づくりに力を入れています。



ビフォーアフター大会 アイデア掲示



授賞式の様子

特集

みんなで参加！

滝乃川学園の ビフォー・ アフター大会 (職場改善大会)

利用者さんにとって安全で暮らしやすい環境には、職員にとって働きやすい環境であることも大切です。かれこれ20年以上前からスタートしたビフォー・アフター大会では、部署ごとに職員自らが取り組んだ職場環境改善について、改善前と改善後の様子を披露し、上位5部署は改善大賞に輝きます！

最初は小規模な大会でしたが、外部の関係機関にもオンライン投票を募るようになり、今年度は1月上旬に開催されました。投票率も重視し、100%の部署には特別賞が授与されたことも。職員は全員参加、地域の皆様にもご協力いただきながら、職場改善気運を高め、お祭り気分で取り組んでいます！

滝乃川学園のビフォー・アフター大会

(職場改善大会)

令和5年度の投票結果

～珠玉の26エントリー～

賞の命名は
学園長

1位

「だれでもわかるで賞」 防災用品の整理と視覚化

防災用品の在庫と期限の視覚化および保管場所の整理



2位

「管理しやすいで賞」

防災倉庫を設置し、防災用品をわかりやすく収納



3位

「すっきりしたで賞」

入所施設の玄関の靴箱を改修し、道幅を拡げ、通行しやすくなった



4位

「癒しの空間が楽しみで賞」

利用者さんと花を鉢植えし、中庭に置いたら好印象の空間になった

4位

「食欲がわくで賞」

調理スタッフの欠員をチャンスに変え、世話人が調理することで、利用者さんの好みを知り、料理の腕前も上がった！

矢川のまちめぐり

今回のテーマ
滝乃川学園のロケ地めぐり

『筆子・その愛 - 天使のピアノ -』

(2007年・119分)

監督：山田火砂子

製作：現代ぶろだくしょん



▲食事のシーン/ 記念館講堂・資料室・廊下

『一粒の麦 荻野吟子の生涯』

(2019年・109分)

監督：山田火砂子

製作：現代ぶろだくしょん



▲教室でお弁当を食べているのを他の生徒からジロジロ見られているシーン

『わたしかあさん - 天使の詩 -』

(2024年・114分)

監督：山田火砂子

製作：現代ぶろだくしょん



▲高島礼子さんが車の泥はねに「バカヤロー」と叫ぶシーン

成人後、海外留学を経験し語学も堪能だった筆子は、「鹿鳴館の華」と呼ばれた才媛だった。華族女学校で教鞭をとり、後の貞明皇后をも教える立場だった。大村藩家老の子息と結婚。親友の津田梅子らと共に女性の自立教育にも動き出し、当時の女性達の中でも、ひととき輝き放つ存在であった。

しかし、そんな筆子を試練が襲う。授かった長女が知的障害を持ち、次女は生後十ヶ月で亡くなり、三女は結核性脳膜炎、続いて夫も結核で亡くなる。筆子は失意の中、嫁いだ家を追われるのだった……。のちに日本初の知的障害者福祉施設・滝乃川学園の創始者の一人となる筆子、彼女がたった一つの施設で始めた協会は、全国4500以上のもの施設となって実を結んでいく――。

© 株式会社現代ぶろだくしょん

吟子は幼い頃から周囲が感嘆するほど聡明だった。女に学は要らぬと嫁がされた家で、夫からうつされた淋病で生死をさまよい、子どもが産めない体になってしまふ。吟子と同じ境遇で、恥ずかしさの余り自死したり、死ぬまで医者にかからなかった者もいることを知り、苦しむ女性たちの力になりたいと、自らが医師になる決意をする。初めて女性の教育養成を目的とした女子高等師範学校を経て、私立医学校好寿院に学ぶが、女性の芸術開業試験の願書は前例が無いため、ことごとく却下されてしまふ……。男性社会の中で道なき道を進み、女性の地位向上に生きた人生を描く。

© 株式会社現代ぶろだくしょん

知的障がい者の両親のもとに高子は生まれた。一時は周囲と違う両親を恥じ、障がい者をも憎んだが、時は流れ、今は障がい者施設の園長になっていた。ある日、高子は、母について講演を依頼される。高子を変えた、母・清子の思い出とは――。

齢92歳の山田火砂子監督が、60年代に知的障がいのある長女を出産し、社会に先駆けて福祉映画を作り始めて、2024年で50年――。長女の恩師で、養護学校で40年近く教職にあった菊地澄子原作の児童文学「わたしの母さん」(1989年児童福祉文化賞を受賞)を、監督自身の子育て経験交えて映画化。健常者と障がい者がともに生きる価値を信じ、見つめ続けてきた女性監督が奏でる人間賛歌の物語。

© 株式会社現代ぶろだくしょん

映画『筆子・その愛 -天使のピアノ-』

※写真は現代ぶろだくしょんより提供

① 滝乃川学園聖三一礼拝堂
(ラストシーンのピアノのシーン)



② 石井亮一・筆子記念館講堂
(常盤貴子さんが看病するシーン)



映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』

※写真は現代ぶろだくしょんより提供

③ 石井亮一・筆子記念館講堂
(冒頭の「私が恋に落ちたのは…」と若村真由美さんが話すシーン)



④ 石井亮一・筆子記念館廊下
(女子禁制の学校に吟子がいることを物珍しく周りが見ているシーン)



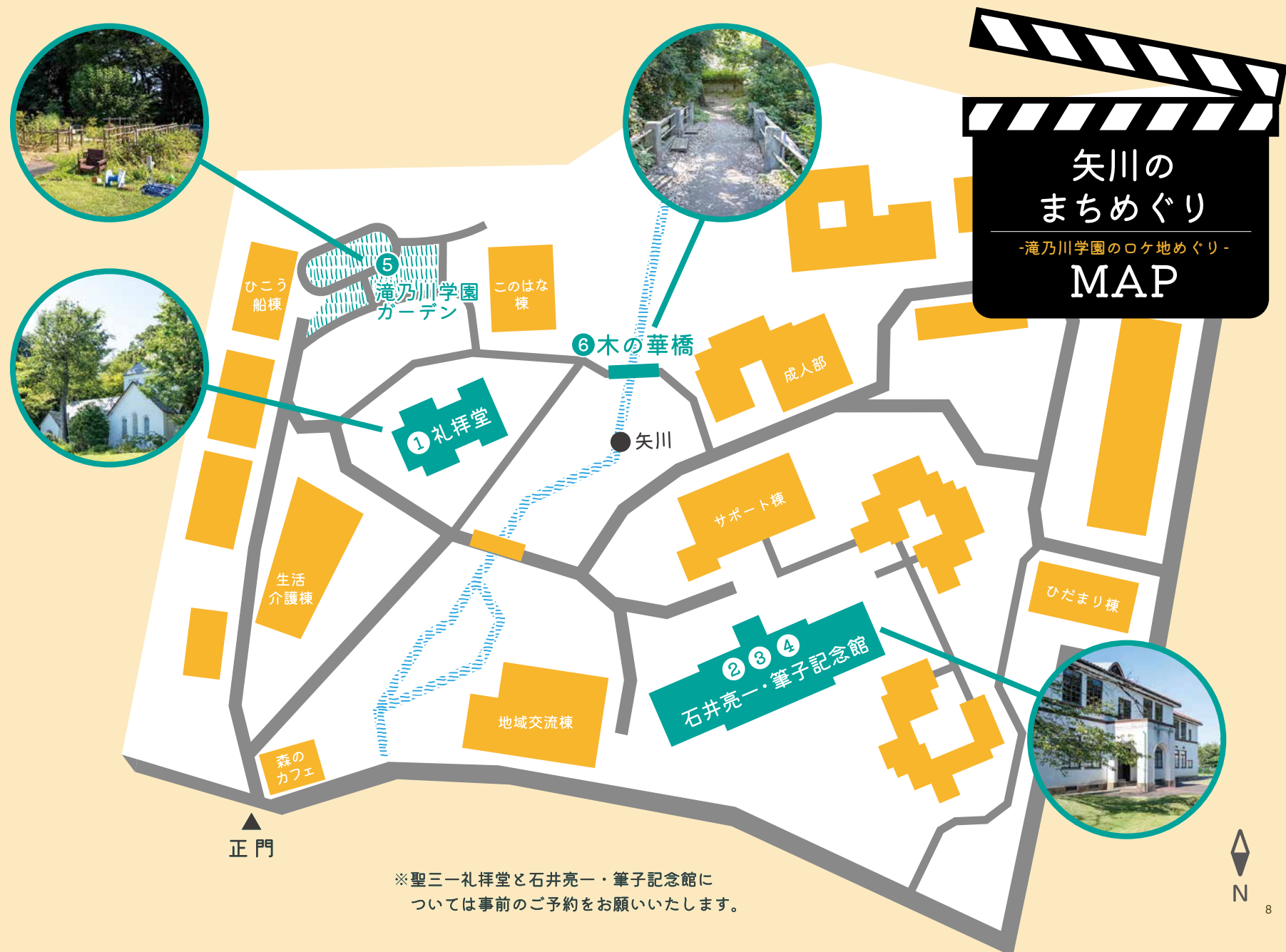
映画『わたしのかあさん -天使の詩-』

※写真は現代ぶろだくしょんより提供

⑤ 滝乃川学園ガーデン
(寺島しのぶさんらが家庭用の菜園に収穫に来るシーン)



⑥ 木の華橋
(宅麻伸さんが子供を諭すシーン)

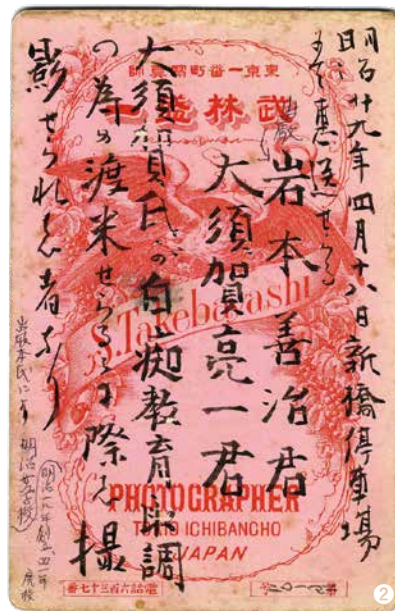


※聖三一礼拝堂と石井亮一・筆子記念館については事前のご予約をお願いいたします。

米川館長の 歴史さかのぼり

石井亮一・筆子記念館
元館長 米川 寛

このコラムは滝乃川学園の深い歴史に魅せられ、2009年に記念館館長になった米川さんの歴史をさかのぼるコラムである。



① | 巖本善治・亮一（渡米前）

② | ①の裏書き 巖本善治・亮一の氏名が書かれている

その7 亮一の歩み 1

本号からは亮一の歩みを追って行きたい。当時の日本で知的障害児は、教育よりも政治や医学面における「欠格条項」「不治永久患者」という否定的にとらえられていた時代であり、排斥や監禁の対象とされることが多かった。一方1892（明治25）年頃より欧米の知的障害児教育が紹介され始めた。特に内村鑑三は渡米し勤務した「ペンシルバニア州立アーウィン知的障害児学校」での体験をふまえ、著作や講演を通して知的障害児教育の必要性を説いた。（この時期の内村と亮一の接点は確認されていないが、亮一は渡米してアーウィンの院長の来園時に、内村が同伴して来園しているのを知り合いであったことは確かだ。）

この時期は、亮一が孤女学院にて知的障害児教育を手探りで始めたところであり、亮一も先進国での教育や実践の紹介に触れるに当たり、現地で学びたいとの意欲

を持つのは当然のことであった。

写真①の裏書②には、写っている2名の氏名として岩本善治君、大須賀亮一君とあり「明治29年4月16日：大須賀氏の白痴教育取調の為め渡米せらるる際に撮影せられし者なり」とある。大須賀氏とは亮一のことである。亮一は幼少の頃虚弱であり、それを心配した両親が、近くに医者がいなかったがよいだろうと、鍋島藩の藩医であった大須賀氏と養子縁組をした。しかし、亮一は一度も大須賀家に入ることなく過ごし、アメリカからの帰国後石井姓に復籍している。

岩本善治はキリスト教徒で、キリスト教のミッションスクール明治女学校校長で『女学雑誌』の編集人であり、亮一が「心の友」とした人物だ。『女学雑誌』は、亮一の「孤女学院」設立当時の寄付募集から集約も担っており、孤女学院の状況を毎号取り上げて、亮一の活動をバックアップしてくれていた。

写真は文面にあるように、亮一が知的障害児教育を学ぶために渡米する時記念に撮影されたものである。

滝乃川学園ではたらく

地域での暮らしを支える

亀田 かおり
グループホーム部
ゆりのき
[勤続年数: 3年]



西中 あゆ美
グループホーム部
ブーケ 寮長
[勤続年数: 6年]



グループホームとは、障害のある人たちが必要とするさまざまな支援を受けながら、地域のアパートや一戸建て等で生活する場所のこと。グループホームの職員は、利用者が「地域で生活していく」ために、それぞれの目標に向けた支援を行っています。

インタビュー
by
国立人

グループホームで寮長を務める西中さんと、勤続4年目の亀田さんにお話を伺います。二人が障害者福祉の道に進むことを決めたきっかけを教えてください。

「もともと私は高齢者の方々と接することが好きで、介護職を夢見て、大学では福祉科で介護を学び、そこでは教員免許も取りました。その教育実習先の特別支援養護学校で、人生で初めて障害のある児童と関わったんです。その子の特性に合わせて教えることの難しさ、面白さ、奥の深さを感じたことが、障害者福祉に興味を持つ大きなきっかけになりました」(西中)

「私は小さい頃、近所の福祉作業所で友達のお母さんが働いていて、よく遊びに行っていました。いろんな人と接す



ることが好きだった私は、福祉の仕事がそれに近いのかな? と漠然と思うようになり、大学では社会福祉学部に進みました」(亀田)

その後、西中さんは夢だった介護職を3年経験してから、亀田さんは新卒で、滝乃川学園にそれぞれ入職します。障害者福祉の中でも、特に利用者さんの生活に寄り添うグループホームで、職員はどんな仕事をしているのでしょうか。また、利用者さんと接する中で心がけていることは?

な知的障害のある利用者さんが生活しています。職員は、食事や入浴支援、行政関係の書類作成のお手伝いやお金の管理のお手伝いなど、その人に合わせた支援を行っています。その中で一番大切にしていることは、『できるところはなるべく自分でやってもらう』ことです」(西中)

「最初はそのバランスが本当に難しく、利用者さんの安全や健康、社会で損をしないようにと思うと、つい口酸っぱくなってしまいうこともあります。利用者さんのためにと先回りしてしまうことが、その人の選択肢や可能性を狭めてしまうこともあるんです。



人生の選択肢を広げるために、職員は何ができるのか。4年目の今でも先輩や上司に聞きながら、利用者さんと接しながら学び続けています」(亀田)

地域の中でその人らしい自立を目指すグループホームでは、職員も日々学びながら成長しています。続きは**滝乃川学園採用サイト「地域の中で育ち合う」**からご覧ください! ▼

滝乃川学園 採用情報 検索

私たちと一緒に働きませんか!

支援員・理学療法士 募集中

詳しくは滝乃川学園のホームページの「採用サイト」をご覧ください。見学等、随時受け付けています。

問い合わせ 法人本部運営管理部人事科
TEL | 042-573-3950

2024年4月1日 から合理的配慮が 義務化されました！

合理的配慮とは・・・

差別解消法の改正に伴い、2024年4月1日から民間事業者も合理的配慮が義務になります。（東京都は条例により既に義務でした）

最近よく聞く合理的配慮とは何でしょうか。それは、それぞれの分野におけるサービス利用に関して、障害の特性や状態に合わせた工夫のことです。例えば、車椅子ユーザーであれば、建物や道路の段差をなくし、スロープやエレベーターなどによって、障害のない人と同じように移動できるようにすることです。障害があることで、障害のない人より不便なところ（社会的障壁と言います）を解消して、生きづらさや使いにくさを減らすことと言えます。その際、①本人からの申し出があること、②取り組む側の負担が重すぎない事という条件があります。利用する人の不便さを解消するために、利用者が言うことをすべてやってももらえるわけではないということです。負担が過重

な時には、お互いに話し合って別の方法を検討したりします。

ところで私たちが支援させていただく多くの利用者は、自分の不便なところを他者に適切に伝えられなかったり、困っていることを自覚することが難しい人たちです。すると、①の本人の申し出によりという所がでなくなります。そこで私たち支援者は、彼らが何に困っているのか、どうしてほしいのかを本人の選好や日頃の生活習慣から想像して他者に伝えなければなりません。特に意思決定に支援が必要な方に関しては、事前にアセスメントをとり、特性からその人にとっての障壁を見極めることが大切です。知的障害や発達障害のように障害そのものが見えないために、困りごとに周囲が気づきにくく、さらに困り具合は人それぞれなので対応が個別となり合理的配慮が難しい場合もあります。

滝乃川学園では、ホームページに当事者向けの「やさしいページ」を載せ、契約書やサービス等利用計画を本人が分かるように、表現を変えルビを振るなどして分かり易くしています。学校では板書が苦手な子に、タブレットで黒板を撮影できるようにする配慮が提供されています。皆さんの身近でも、合理的配慮について考え必要に合わせて取り組んでみてください。

滝乃川学園内では、ご利用の皆さまに向けてこれらのことに取り組んでいます。



敷地内の移動

車椅子の方等が移動しやすいように、地面は〈アスファルト〉、必要箇所に〈スロープ〉の設置をしています。

窓口対応

園内の案内場でもある事務所に〈タブレット〉を設置し、職員がご来園のみなさまへ様々な手段でご案内をしております。

トイレ

車椅子でもご利用いただける〈誰でもトイレ〉を建物内に設置しています。



ホームページ

ご利用者の方や利用検討中の方へ向けて、分かりやすくご案内している〈やさしいページ〉があります。滝乃川学園のホームページよりご覧いただけます。



駐車場のご案内

学園内に〈車椅子・優先駐車場〉をご用意しています。

滝乃川学園にご来園の際にはお気軽にご相談ください！お待ちしております♪

矢川あたりの 鳥たち 虫たち

滝乃川学園のご近所、「国立あおいとり保育園」の園長・佐伯元行さんは、幼い頃から生き物博士！ そんな佐伯園長に、滝乃川学園界隈でその季節に見られる鳥や虫を教えてください。



その7
キビタキ

滝乃川学園で撮影した
キビタキのオス



キビタキのメス



羽を広げるキビタキのオス



城山公園で撮影したキビタキ

写真・文：佐伯元行

キビタキは夏鳥で、「ピーチュリィ ピピリィ オーシツク」などとさえずります。私は国立市では2019年5月2日に滝乃川学園の南側の矢川のそばの林で初めて見つけました。翌日は城山公園にいました。高尾山・昭和記念公園・狭山丘陵などの林で4、5月と9、10月頃見られることがあります。

Q.現在のお仕事内容を教えてください

利用者さんの毎日の健康チェックをはじめ、服薬管理や、医師の往診時の補助、予防接種の補助、必要な時には医療機関受診の付き添いなどを行っています。

最も重要なのは、利用者さんたちの健康管理です。日々利用者さんと接している支援員さんからの情報をもとに、ご自身の不調を言葉で訴えることができない利用者さんに代わって、ちょっとした不調のサインに気づくことも大切です。(S職員・Y職員)

Q.病院やクリニックと、滝乃川学園のような福祉施設とでは、看護師の役割にどのような違いがありますか？

病院やクリニックでは、様々な職種のスタッフがチームとなり、患者のサポートを行っています。看護師はチームの一員として、患者のケアを行い、医師の診療の補助を行います。滝乃川学園のような福祉施設では、入所している利用者さんの健康管理が主な仕事です。支援員と看護師が協力しながら、その人らしい暮らしを支えるための医療ケアを行います。医師が不在の場合、看護師が判断して対応にあたることもあります。(S職員・Y職員)

福祉施設の看護師って何？

お話を聞いた人

医務科 S職員 Y職員
(勤務年数 1年)

Q.仕事でやりがいを感じた瞬間

初めはなかなか笑顔を向けてくれず、うまくコミュニケーションが取れなかった利用者さんが、関わっていく中で少しずつ距離が縮まり、笑顔を向けてくれるようになった時です。嬉しくもあり、仕事を頑張ろうという励みにもなりました。(S職員)

利用者さんが怪我をした時、祝日で施設内に医師がおらず、看護師である自分が判断し、救急病院を受診したことがありました。検査の結果、数力所の骨折がありましたが、すぐに手術を受けることができたので、早期に回復することができました。痛みや苦痛を自分で訴えることができない利用者さんの声を聞き取り、支援員さんの情報をもとに判断した結果、利用者さんが適切な治療を受けることができ、良かったなと安心したのと同時に看護師としてのやりがいを感じました。(Y職員)

ご支援のお願い

日頃より私たち滝乃川学園に温かいお心をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。私たち滝乃川学園は、障害のある人々がみずからの幸せを希求できる場を創造、提供し、それを支援する有為な人材を育て、学園の発展のみならず、わが国の障害者福祉のさらなる進歩に貢献できるよう、役職員一同、先駆者としての誇りを胸に、努力していく所存です。引き続き、皆様のご指導とあたたかいご支援を宜しくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行

専用の払込票がございます。必要な方は、お電話またはメールにてお問い合わせください。

三井住友銀行

銀行名：三井住友銀行国立支店
口座番号：普通預金 0921148
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

三菱UFJ銀行

銀行名：三菱UFJ銀行府中支店
口座番号：普通預金 0002309
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

130周年記念寄附について

重度の方でもいきいきと活動できる場所を目指し、「新作業棟建設プロジェクト」を企画準備中です。現在、インターネット寄附の導入も検討しております。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

感謝録
寄附者
ご紹介

ホームページにて、2023年11月1日から2024年2月28日までに寄附いただきました皆様をご紹介させていただきます。

Instagram 始めました！

Follow
me!!



@takinogawagakuen 検索

滝乃川学園の日々の様子をゆる〜く発信しています。
お気軽にのぞいてみてください！

矢川だより読者の 皆様の声を募集しています！

「こんなページが面白かった！」「こんなコーナーを読みたい！」など、矢川だよりを読んで感じたみなさまの感想をお聞かせください！



◀こちらのQRから
感想を聞かせてください！

[https://forms.gle/
rwmos3rvzDCdojhV8](https://forms.gle/rwmos3rvzDCdojhV8)

新作業棟「ひだまり棟」が できました！



全ての扉のカラーを変えるなど、スタッフのアイデアが詰まった建物です。「ひだまり棟」でのグループ活動が令和6年4月より開始しています。

ボランティア募集！

滝乃川学園では、日中活動支援、余暇活動支援、園内環境整備（除草・落ち葉掃きなど学園内の清掃・整備）などのボランティア活動をしてくださるボランティアの方を募集しています。イベントボランティアは、随時ホームページにて情報を掲載していきます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

ボランティア担当

【電話】042-573-3950（9時～17時）

滝乃川学園ガーデンプロジェクト

園内にある500坪ほどの敷地にコミュニティガーデンを作り、内外の人がみんなで協力して、維持管理をしながら、誰もが憩うことができる場所を目指して活動しています。まずは気軽にガーデンの見学にいらしてください。お待ちしております！

【日時】

2024年6月8日(土)、7月15日(月)、8月10日(土)、9月8日(日)
「滝乃川学園ガーデンプロジェクト」のフェイスブック(公式ページ)で最新の日程をお知らせしていますので、ご確認ください。

【場所】聖三一礼拝堂前コミュニティガーデン

【服装】汚れてもよい服装、靴

ガーデンプロジェクト担当

【電話】042-573-3950（9時～17時）

矢川だより

No.133

矢川だより 第133号

2024年 4 月発行

発行 社会福祉法人 滝乃川学園

制作 矢川だより編集会議

合同会社三画舎



滝乃川学園
TAKINOGAWA GAKUEN

〒186-0015

東京都国立市矢川三丁目16番地の1

電話 042-573-3950（代表）

メール soumu@takinogawagakuen.jp

H P <https://www.takinogawagakuen.jp/>

